

家畜損害防止関連情報

◆牛の急性鼓脹症

急性鼓脹症、いわゆる“ガス”は、畜主が発見した時点で死亡例が多く、経済的な損失と突然のことで気が動転してしまいます。

ガス発生初期の処置は、獣医師を早く呼ぶことも大切なことですが、畜主自身ができる簡単な治療法は、牛を起立させて「ガスポン」「ガスサイン」（シリコン樹脂）などの消泡剤を投薬することです。また、起立させて「わら」などで左側の腹部をマッサージするのもよい方法です。

ここで注意が必要なのは、右側の腹部まで膨らんだときは非常に危険な状態ですので、往診の督促をする必要があります。

なぜ、ガスになるのか？簡単に説明しますと、第一胃は食物の貯蔵庫であり、発酵させて消化吸収を行うため、常にガスが産生されています。牛は暖（あい）気＝げっぷ＝としてガスを排出し平衡を保っていますが、排出が抑制されると鼓脹症になってしまうのです。